

中日ニュース

第二一五号 内容

高野 新 号

(P有)

一、全早大善戦す

——オール・ブラックス第一戦—— 東京

世界最強を誇るニュージールランドのラグビー・チーム、オール・ブラックスは二月二十三日、秩父宮ラグビー場で、全早大と第一戦を行いました。試合はオール・ブラックスのキック・オフで開始、全早大は得意のゆさぶり戦法で果敢に攻撃をかさね、前半九対八とリードして、予想をくつがえす健闘をみせました。後半、風上に回ったオール・ブラックスは、次第に日本の戦法にもなれて矢継ぎ早やに得点、三十三対十二と大きく全早大を引離し来日第一戦を飾りました。

一、週間話題

★捕つた「白鳳の通り魔」

——四日市

警視庁戦後二度目の特別手配中であつた殺人、強盗の凶悪犯桂正義は意外にも四日市拘留所に居ることがわかり、追求の結果判明しただけでも三十五件にも及んでいます。

★南極本観測ついに断念

南極観測へ最後の努力をつづけた宗谷は二月二十四日も悪天候にはばまれて、越冬隊を送ることが出来ず、ついに本観測を断念しました。しかしオングル島の西堀第一次越冬隊は多くの困難と闘いながら科学のメスを加えたのです。

カメラ・ルポ

最低賃金

——東京・埼玉
——京都・静岡

臨時労働者の中央集会がこのほど東京で開かれ労働法の保護も満足に受けられない人々が強い不満と生活の不安を訴えました。下町の工業地帯、燃え上る火花の中で働く大部分が臨時工の人たちや年少労働者です。低賃金で知られる京都の西陣では時価数万円もする織物とは縁遠く彼女たちの身入りはわずかに五千円足らず。東京のある製本工場では組合が一週間に一度の休日を要求したため会社は一方的に工場を閉鎖してしまいました。静岡県のミカン工場は業者間協定のモデルケースといわれていますが、ある従業員はこの賃金の業者間協定に強い不満をのべています。こうして国会の重要法案である最賃制の今後のなりゆきが注目されています。

製作配給 東京中日新聞、中部日本ニュース映画社